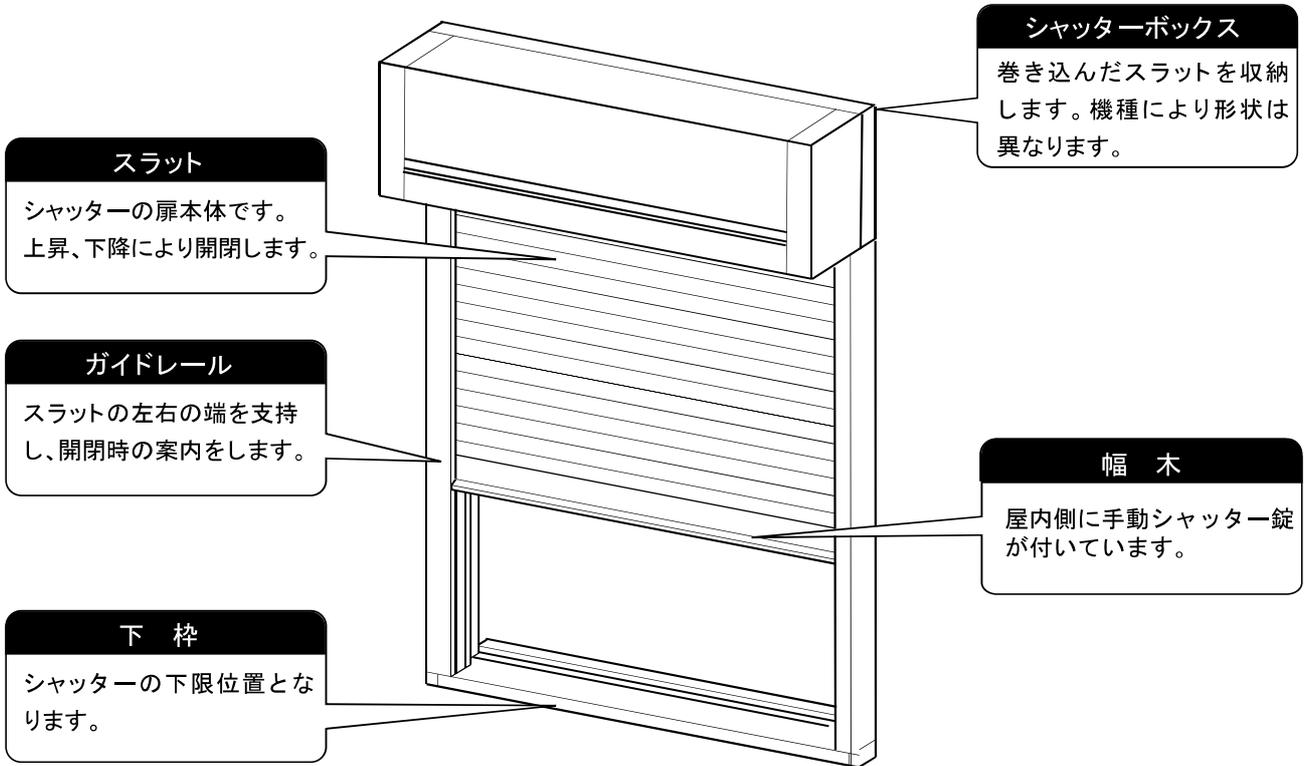


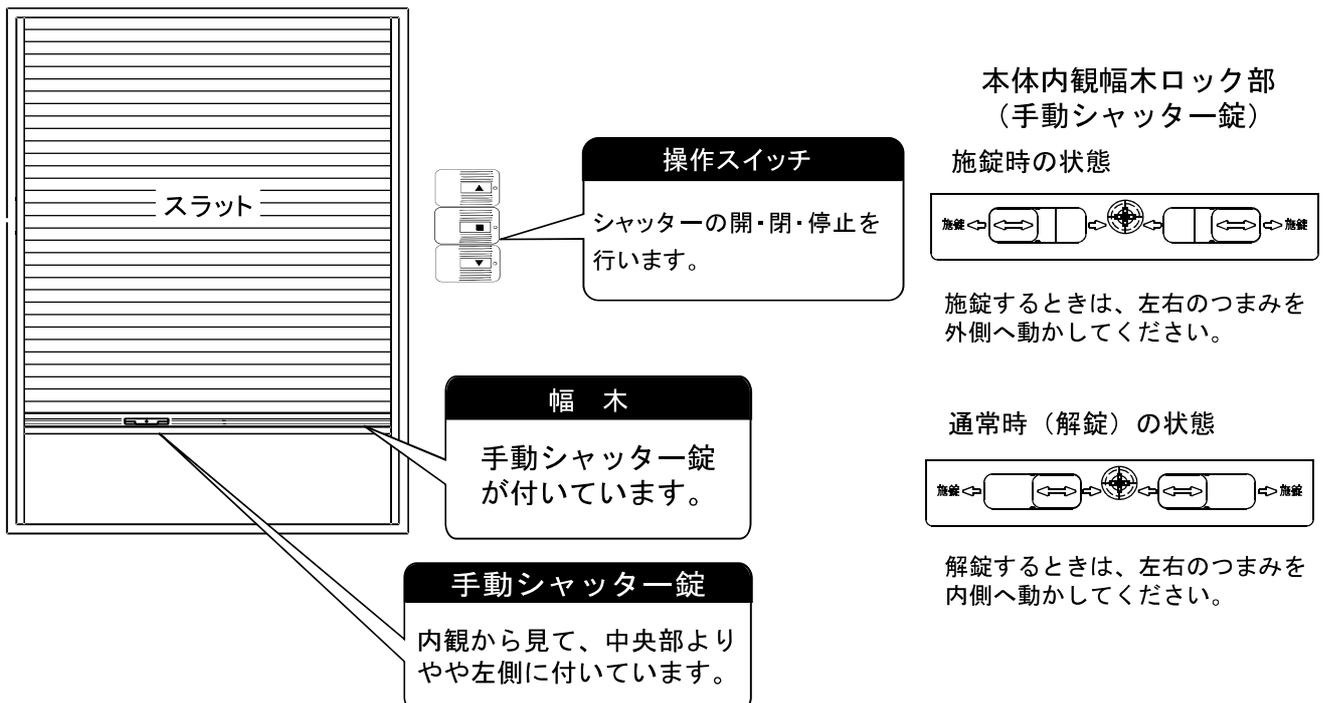
2.製品の概要

各部の名称とそのはたらき

本体《外観》



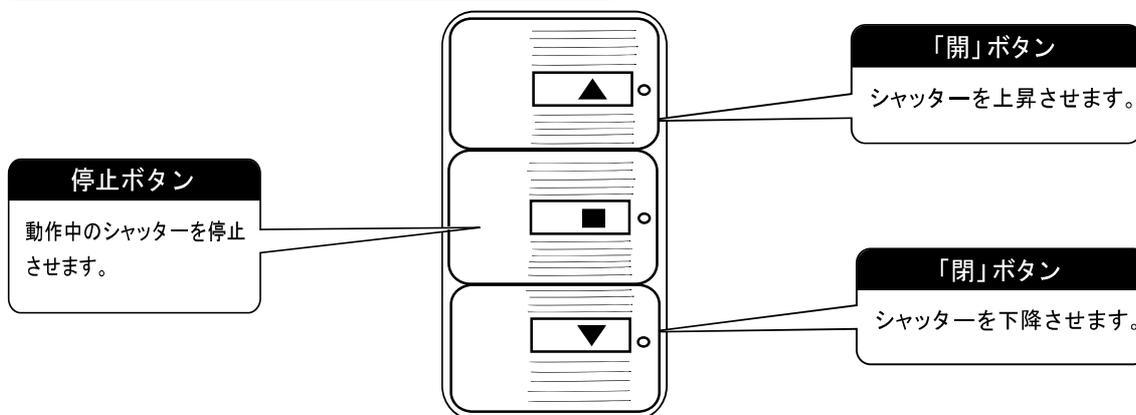
本体《内観》



※手動シャッター錠を施錠した状態ではシャッターは開きません。
シャッターを開ける時は、手動シャッター錠を解錠してください。

各部の名称とそのはたらき

操作スイッチ



機能

ロック方式	手動シャッター錠	○
	防犯機能	○
障害物検知機能	負荷検知方式	○
	幅木部検出方式	—

「○」…標準装備

「—」…装備なし

防犯機能

シャッターを外部から開けようとする時、電氣的にモーターの回転をロックします。
※通電時のみの機能です。

注記 ●シャッターを閉めた時は、手動シャッター錠を施錠してください。
●おやすみまたはおでかけの際は防犯上、内側のサッシの錠をかけてください。

障害物検知機能

●負荷検知方式

シャッターが閉動作中に障害物に当たり、モーターに負荷が加わるとその場で停止、または反転上昇し、停止します。

注記 ●障害物検知機能は万が一の場合の機能ですので、開閉中はシャッターに触れないようにしてください。

シャッター本体製品仕様

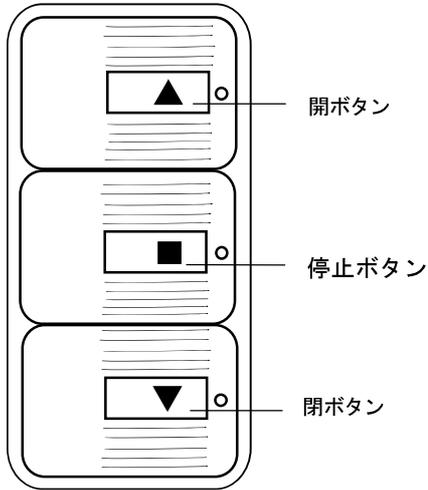
使用条件	周囲温度	-10℃~40℃(凍結を除く)
	周囲湿度	RH85%以下
	周囲環境	沿岸部、腐食環境などを除く
電動機構	使用電源	単相100V
	周波数	50/60Hz
	定格消費電力	80W以下(待機時10W以下)

※シャッターを閉めても枠部材との隙間から入る光を完全に遮ることはできません。さらに暗くしたい場合は、遮光カーテン等をご利用ください。

3. ご使用方法

電動タイプ（操作スイッチによる操作）

●操作スイッチ



開けるとき	●操作スイッチ 開ボタンを押してください。 ※手動シャッター錠が解錠されていることを確認してください。
止めるとき	●操作スイッチ 停止ボタンを押してください。
閉めるとき	●操作スイッチ 閉ボタンを押してください。

●開閉時シャッターの動きについて

●本商品は、電動モーターの出力とシャッター質量とが、巻取り軸に取付けのスプリング力でバランスを取りながら開閉する構造となっております。特性上、開閉途中で引っ掛かるような動きをする場合もありますが、異常ではありません。（品質上問題ありません。安心してお使いください。）

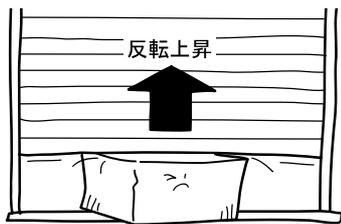
※手動シャッター錠が施錠されているとシャッターは開きません。
解錠してからシャッターを開けてください。

障害物検知装置の説明

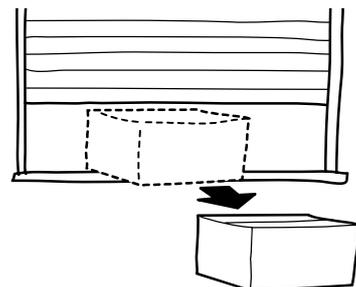
⚠ 注意

- シャッターの開閉に支障となるようなものを置かないでください。シャッターや器物を破損する恐れがあります。
- 物を挟んだり、作動中に下を通過する等の行為はおやめ下さい。

①下降中、障害物によりスラットに負荷が加わるとその場で停止または反転上昇し、停止します。



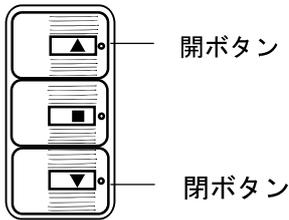
②障害物を取り除き、再度開閉操作を行ってください。
※シャッターの中央付近より上及びシャッターサイズが小さい場合は障害物検知装置が利きにくい場合があります。



シャッター開閉の上下限位置再設定の方法

シャッター開閉の上限・下限の停止位置を再設定する場合は、以下の手順で行ってください。

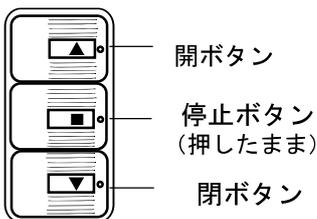
1. サイズの設定



シャッターの初期状態は、サッシW：1500mm以上のサイズ設定になっています。サッシW：1500mm未満の場合に、以下の操作でサイズ設定をしてください。

開ボタンと閉ボタンを同時に押してください。
開閉器（モーター）部から「ピッ」という音がします。
（「ピピッ」という音が鳴った場合は正しく設定されていません。
もう1度やり直してください。）

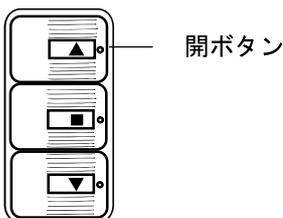
2. 設定のリセット



停止ボタンを押したまま、開ボタンと閉ボタンをゆっくりと交互に3回ずつ押します。（開→閉→開→閉→開→閉の順です）リセット状態になるとシャッター本体のモーター一部で音がします。（ピピッ）

※確実に認識できるように、ゆっくりと行ってください。
（音がしなかった場合は、やりなおしてください）

3. 上限の設定

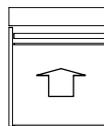


注意：リセット後は必ず上限設定を先に行ってください。

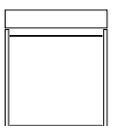
- ① 開ボタンを長押しします。
- ② 上限位置で自動停止します。

上限設定が完了するとシャッター本体のモーター一部で音が鳴ります。（ピピッ）

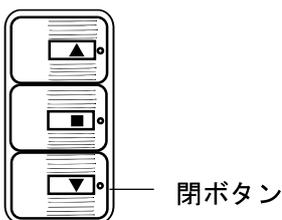
- ① 開ボタンを長押しするとシャッターが上昇します



- ② 上限で停止し、音がなったら上限設定の終了です。



4. 下限の設定

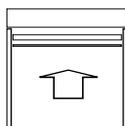


- ① 上限設定後、閉ボタンを長押しします。
- ② 上限付近で上・下動作を0～最大8回繰り返します。

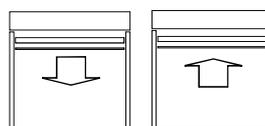
- ③ その後、下降を開始し、下限位置で自動停止します。

下限設定が完了するとシャッター本体のモーター一部で音が鳴ります。（ピピッ・ピー・ピー・ピー）

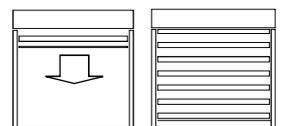
- ① 閉ボタンを長押しすると、動き出します



- ② 上限付近で上・下動作を0～最大8回繰り返します



- ③ その後、下降を開始し、下限位置で停止します



停電時の操作方法

通電後の操作方法

開ボタンを押し、一度全開させてください。その後は、通常の操作で完全に復帰します。

停電時の状態について

停電時に手でシャッターを開閉しようとした場合、開閉が非常に重く開閉は困難です。その為非常脱出口としては使用出来ませんが、シャッターは開けられます。通電をしない状態でシャッターを閉じている場合は、必ず手動シャッター錠の施錠をしてください。



注意

- 通電後、上昇させずにシャッターを下降させると下限でダブついて停止します。また、もし障害物があった場合は反転上昇しません。（その場合は「開」ボタンを押し、上限で自動停止させると、通常動作可能になります。）

4.お手入れ方法

清掃の仕方

●シャッターはいつもきれいに清掃しておくことが腐食せずに長持ちさせる一番の方法です。

- ①柔らかい布で水ぶきをし、表面の汚れを拭き取ります。
- ②中性洗剤等で汚れを拭いて頂ければ、さらに長持ちします。



- ③硬い物で強くこすると表面に傷がつき、そこから錆やすくなりますのでご注意ください。



- ④シャッターボックスの中に直接ホース等で水をかけての清掃は、故障の原因となりますので止めてください。



清掃の間隔

●清掃は下記の基準をめやすとし、定期的に行ってください。

- ①臨海工業地帯 (京浜・中京・京阪神) ……毎月1回
- ②海岸地帯 ……毎月1回
- ③工業地帯 ……2カ月に1回
- ④大都市地帯 ……2カ月に1回
- ⑤中小都市地帯 ……3カ月に1回
- ⑥田園地帯 ……4カ月に1回



日常点検

注意
日常点検で不具合を発見したら、ただちに使用を止めてください。

シャッターの開閉状態については以下の事項を確認してください。

- 今までと違った異音がないこと。
- 今までと違った振動がないこと。
- 外観に使用上有害な変形がないこと。
- 上限下限で停止すること。

シャッターのお手入れ

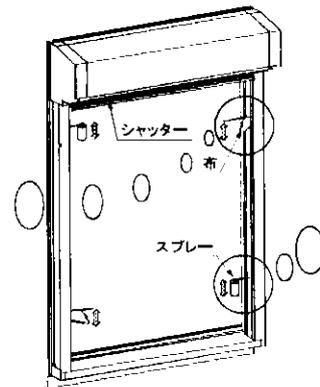
下記のような場合、シャッターのお手入れをお願いします。

- 1) シャッターの開閉が使用するうちに重くなってきた。
- 2) シャッターを開閉する時に音がする。
・原因として、レール内に砂埃等が入り、スラットのすべりが悪くなっている事が考えられます。下記の方法にて、お手入れしてください。

お手入れ方法

- ①シャッターを全開して、レール内の砂埃を布等にて拭き取ってください。
- ②レール内にシリコンスプレーのノズルを入れ、レール全体に(上から下まで)スプレーをしてください。
- ③スプレー後にスラットの開閉を2~3回行い、スラットとレールにオイルをなじませてください。

※粘性の高い潤滑材は、砂埃等が付着しやすくなりますので、シリコンスプレーを使用してください。



5.故障かなと思ったら

症状	チェック項目	対処方法	参照ページ
操作スイッチを押しても動かない。	停電していませんか？	通電までお待ちください。 通電後は必ず最初に「開」ボタンを押してシャッターを上限で自動停止させてください。	7ページ 「通電後の操作方法」
	配電ブレーカーがOFFになっていませんか？	配電ブレーカーをONにしてください。 通電後は必ず最初に「開」ボタンを押してシャッターを上限で自動停止させてください。	
	手動シャッター錠が施錠されていませんか？ シャッターが凍結していませんか？	手動シャッター錠を解錠してください。 とけるのを待って操作してください。	
シャッターが途中で止まる。		停止位置がずれています。	7ページ 「通電後の操作方法」

6. 製品保証について

本手引きは、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理をお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■保証期間

施工者より商品の引き渡し日（注1、注2）から起算して次の期間とします。

- ① 商品の不具合については2年間（電装部品については1年間）。
- ② 商品からの雨水浸入については10年間。（但し、窓が閉まっていて施錠状態に限ります）

注1）改修工事の場合は改修部分の工事完了日を起算日とします。

注2）分譲住宅（連売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主への引渡し日を起算日とします。

■保証内容

本手引き、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまる場合がありますが、これは商品上の特性であり、不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を超えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出ることです。（但し、窓が閉まっていて施錠状態に限ります）

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有償修理となります。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工上、組立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）
- ② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所（店舗など）に取付けられた場合の不具合。
- ③ 商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、干割れ、変色など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合。
- ④ 自然環境や住環境に起因する結露などの不具合。
- ⑤ 環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合。（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯機などの排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑥ 天災その他不可抗力（例えば）暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑦ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合。
- ⑧ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合。
- ⑨ 植栽による不具合。（例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の破壊など）
- ⑩ 引渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
- ⑪ お客様自身の組立て、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合。
- ⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する不具合。

■その他事項

保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

本手引きによってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問合せください。

「防犯性能の高い建物部品」は客観的に評価された防犯性能を有する製品で、侵入を完全に防ぐものではありません。

したがって、瑕疵担保責任による損害の補償の対象とはなりません。

また、侵入盗の破壊による製品の破壊は犯罪行為ですので瑕疵担保責任には該当しません。

通常のご使用での瑕疵担保補償は他の製品と同様に対応させていただきます。

新日軽株式会社

本社/〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目11番1号（ゲートシティ大崎ウエストタワー）
☎03-5759-2100（代）

お客様相談室（フリーダイヤル）0120-37-2534